

第4章 基本理念及び基本目標

(1) 基本理念

本市は、かつては中山道の宿場町として、また機織物のまちとして栄え、現代においては、首都圏の拡大とともに住宅都市として発展してきました。

宿場町の面影を残すまちなみ、機まつりや宿場まつりなどの催事に代表される、先人達が紡いできた歴史文化は本市の重要な地域資源となっています。

また、市民間の交流が深く、あたたかなコミュニティを基盤とした、暮らしやすい住宅都市を形成するに至っています。

一方では、高度経済成長期に移り住んだ市民も高齢期を迎え、若い世代へとまちづくりの主役が移行しつつあります。

本市の景観づくりは、これらの脈々と受け継がれてきた歴史文化などを礎とし、古いものと新しいもの、にぎわいと落ち着き、守るべきものと創り出すものなど、相反するものを縦系・横系に、「美しいわらびの姿を織り上げる」ことを基本理念に、市民共有の大きな財産となる景観づくりを進めます。

< 基本理念 >

美しいわらびの姿を織り上げる

(2) 基本目標

景観づくりの基本理念を踏まえ、次の3つの基本目標を示します。

基本目標 1

宿場町としての歴史文化を活かした景観を未来に継承する

中山道の宿場町の面影を残すまちなみは、本市の成り立ちや歴史文化を語る重要な資源であり、暮らしの場としての愛着を醸成する源となっています。

このことから、これらの歴史文化を表す景観資源については、大切に守るべき財産としてその価値を再認識し、市民相互で共有するとともに、先人が築き、保全してきた固有の景観として未来へと引き継ぐことを目指します。

基本目標 2

多様な価値観を尊重しつつ、魅力的なまちなみを形成する

中山道の宿場町、機織物のまちとしての発展を経て、首都圏の拡大とともに東京都心に隣接するベッドタウンとして、時代とともにまちの姿も変化しており、住宅地や商業地、工業地などの多様な土地利用とそこに立地する建築物が相まって、景観が形づくられてきています。

このことから、歴史文化を重んじる価値観や現代的なデザインを指向する価値観、経済性や効率性を重視する価値観など、多様な価値観を尊重しつつ、住宅地の落ち着きやすさ、商業地やまちの拠点におけるにぎわい、工業地や幹線道路沿道など、それぞれが持つべき役割を果たしながら、魅力あるまちなみ景観の形成を目指します。

基本目標 3

みんなで協働して住み続けたいと思える景観を育てる

市民間の交流が深く、あたたかなコミュニティを基盤とした暮らしやすい住環境は、市民一人ひとりのまちへの愛着を醸成し、暮らしを彩る景観を生み出す行動の一つ一つにつながります。そこで築き上げられた景観が、次世代の市民の暮らしを支える良好な住環境を形成し、さらなるまちへの愛着をもたらすという好循環を創り上げていくことが必要と考えます。

このことから、市民と行政が協働して、住み続けたいと思える景観を育て、未来へと引き継ぐことを目指します。